

2008年度「購買・調達に関する実態調査」結果

“コスト上昇に悩まされる調達部門”

株式会社アジリアソシエイツ(代表取締役社長 野町直弘)と社団法人日本能率協会(会長 富坂良雄)は、原材料・素材の価格が依然として高騰しているなかで、企業のコスト競争力に直接寄与する購買・調達部門の実態調査を行い、購買・調達部門の課題を探った。

調査結果より、調達部門は原材料のコスト上昇に悩まされ、コスト削減効果が出ていない厳しい現実が明らかとなった。経営陣からは、従来からのコスト削減のみならず、購入品の安定供給確保についての期待が高まっており、QCD(コスト・品質・納期)全体をコントロールする中枢機能としての役割が求められている。

また、最高調達責任者(CPO; Chief Procurement Officer)の設定企業は僅かであり、さらに、他部門からの異動者であり調達経験が浅い調達責任者が多く、調達部門におけるキャリアのゴールがみえない実態が明らかとなった。

主な調査ポイント

コスト上昇の状況と抑制の施策

コスト上昇率が高い(対昨年比)調達品目は「石油・石炭製品」(46%)「鉄鋼」(46%)がトップ。回答企業の平均上記2品目で1年間で1.3倍~1.5倍のコストアップの状況を示している。

コスト上昇には「購入先の多様化」(58%)で対応するも、約半数の48%の企業が「従来よりもコスト削減効果がでない」状況であり、企業のコスト競争力を担う購買・調達部門の厳しい現状が伺える。

経営陣からの期待と評価

経営陣からの期待は昨年比6ポイント増の82%と2006年の調査開始以来、最高値を記録。永続的課題である「利益計画達成のためのコスト削減の実行」(87%)の他に、需給逼迫を背景とした「購入品の安定供給確保」(25%)、企業価値を高める「コンプライアンス、内部統制、CSR調達等の取組強化」(28%)に対する期待は伸びも大きい。

調達責任者の人物像

調達責任者の人物像は「50代、購買・調達経験5年未満、ノンプロパー(他部門からの異動)」が中心であり、調達部門におけるキャリアのゴールが見えないという厳しい現実がみられる。調達責任者の役割は「調達に関わるリスク管理責任を負う」(88%)「利益計画に対するコスト削減等の計画・実行の責任を負う」(81%)など、QCD確保が中心となっている。

< 調査概要 >

調査時期	2008年5月~6月
調査対象	国内企業の購買・調達責任者
調査方法	調査票を郵送配布 郵送及びインターネットによる調査票回収
回答数	249社 (配布数: 1412件、回収率: 18%)
回答企業の概要	上場(57%)、非上場(43%)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アジリアソシエイツ
担当: 江本

TEL :
03-5545-3203

E-mail :
info-ag@agile-associates.com

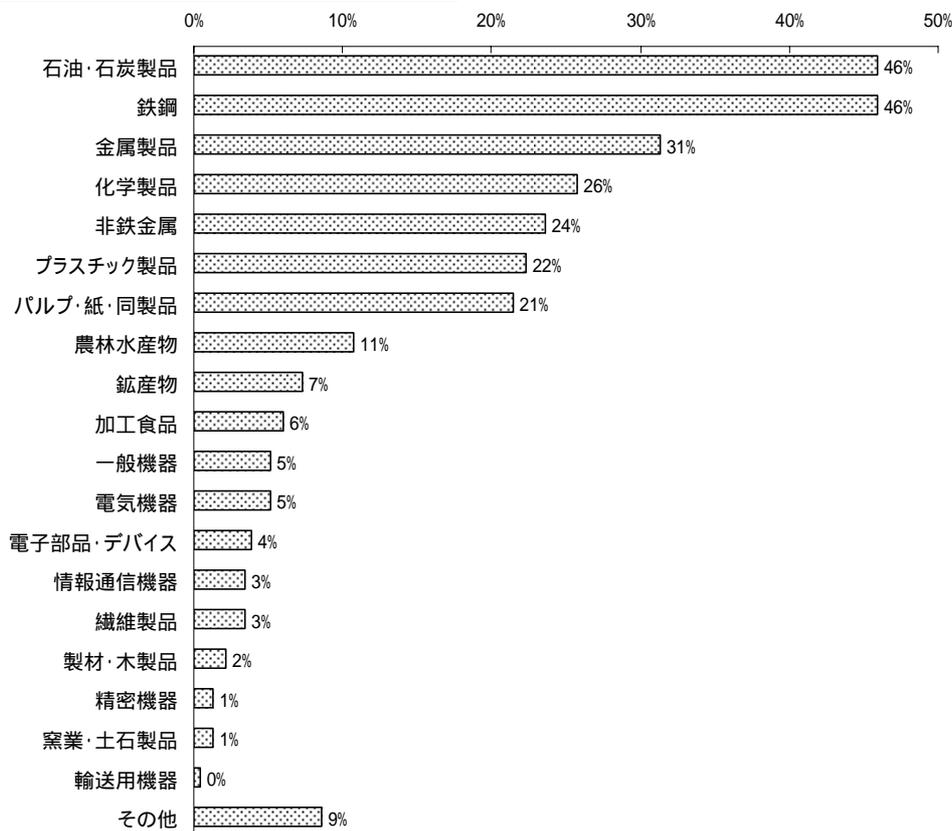
1. 原材料のコスト上昇に悩まされる購買・調達部門

コスト上昇率が高い(対昨年比)調達品目は「石油・石炭製品」(46%)「鉄鋼」(46%)がトップ。(図1)

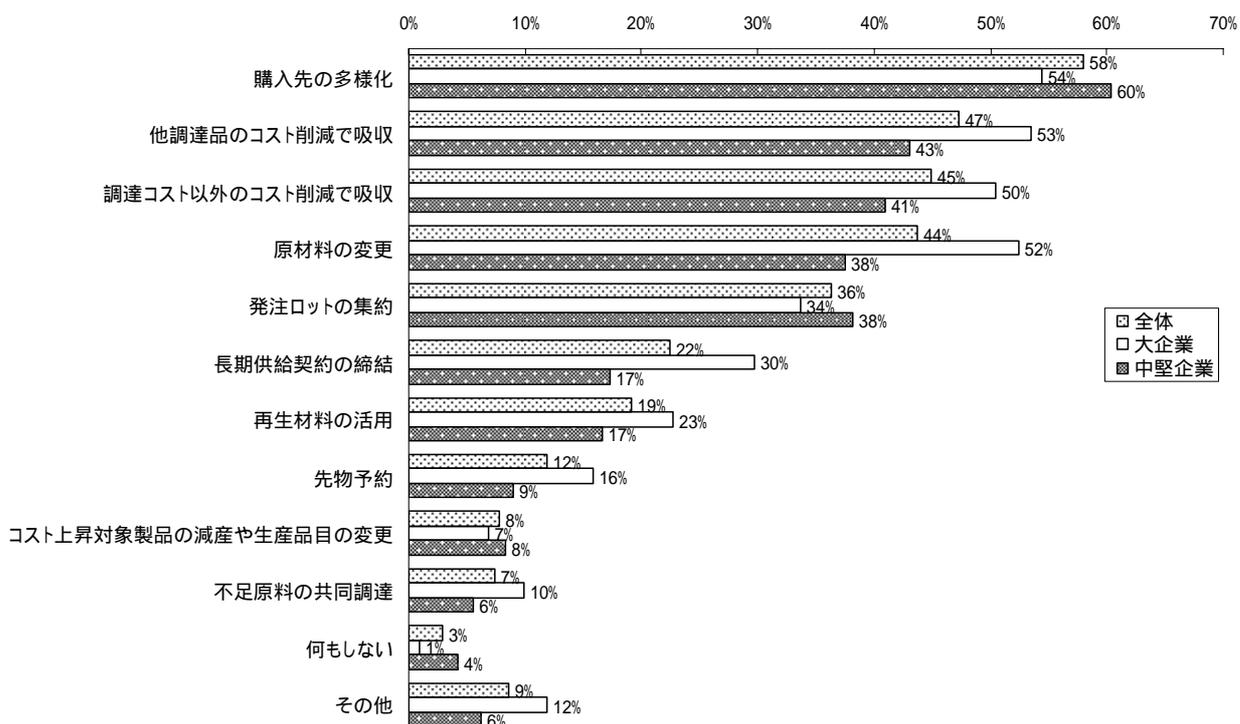
コスト上昇には「購入先の多様化」(58%)等で対応するも、「他調達品」や「調達コスト以外のコスト削減で吸収」等の回答も多くなっており手詰まり感が感じられる。(図2)

規模別には大企業が「原材料の変更」(52%)「長期供給契約の締結」(30%)が、中堅企業は「購入先の多様化」(60%)が相対的に高い施策となっている。また、約半数の48%の企業が「従来よりもコスト削減効果がでていない」状況であり、購買・調達部門の厳しい現状が伺える。

コスト上昇率が大きい調達品目1位~3位(全体)(図1) (3項目回答)



コスト上昇に対する施策(企業規模別)(図2) (複数回答)

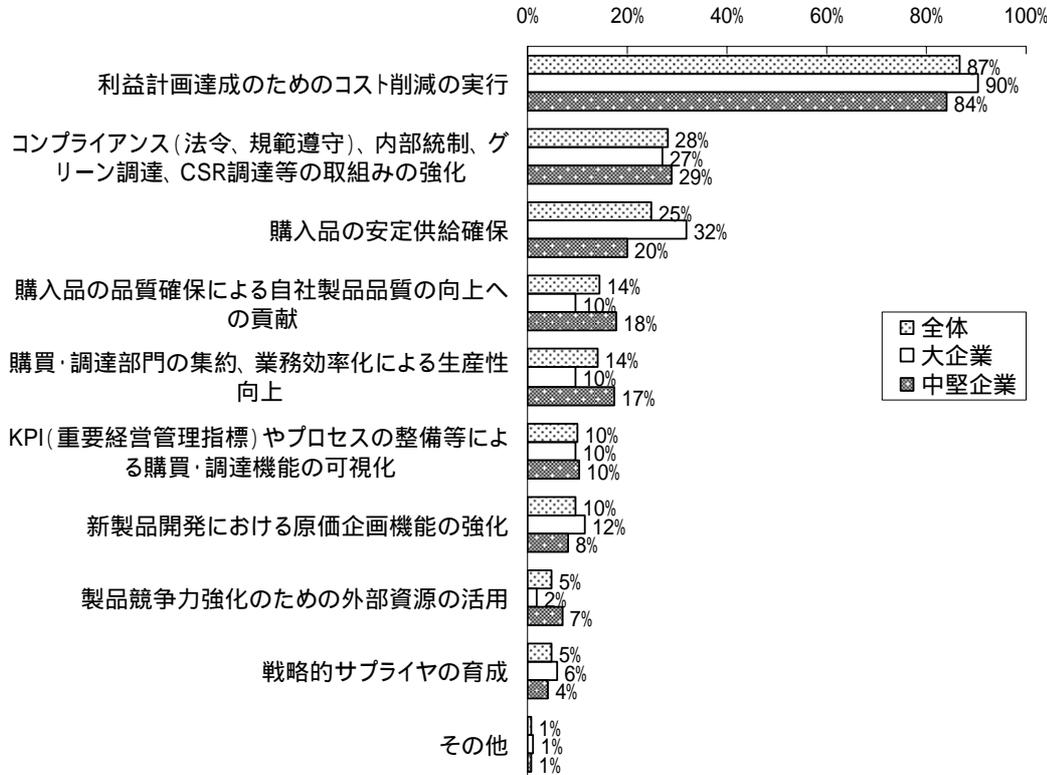


2. 経営陣からの期待はますます高まる

経営陣からの期待のトップ3には「利益計画達成のためのコスト削減の実行」(87%)、「コンプライアンス、内部統制、グリーン調達、CSR調達等の取組みの強化」(28%)、「購入品の安定供給確保」(25%)が上げられている。特にコスト削減は、昨今の原材料市況高騰を受け大きな経営課題として捉えられているようだ。(図3)

経営陣から現在期待されている項目(企業規模別)(図3)

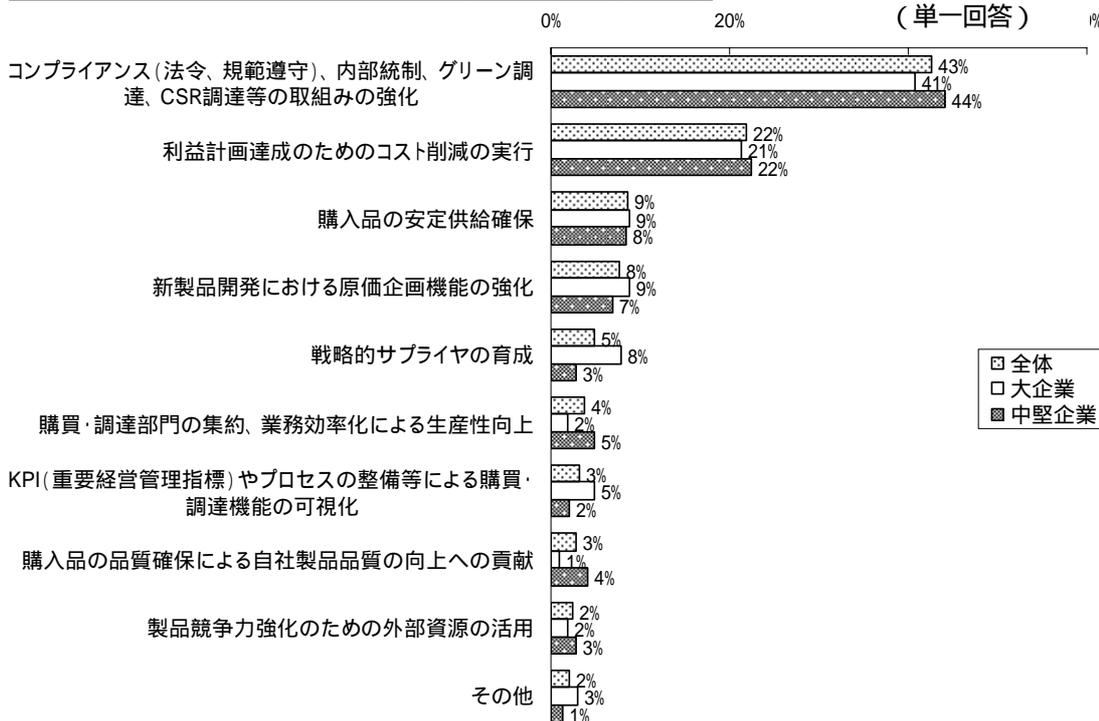
(2項目回答)



近年期待が高まっている項目は「コンプライアンス、内部統制、グリーン調達、CSR調達等の取組みの強化」が43%を占めている。中堅企業でもこの項目が重視されており、取組みの裾野が広がっていることがわかる。(図4)

経営陣から近年特に期待されている項目(企業規模別)(図4)

(単一回答)



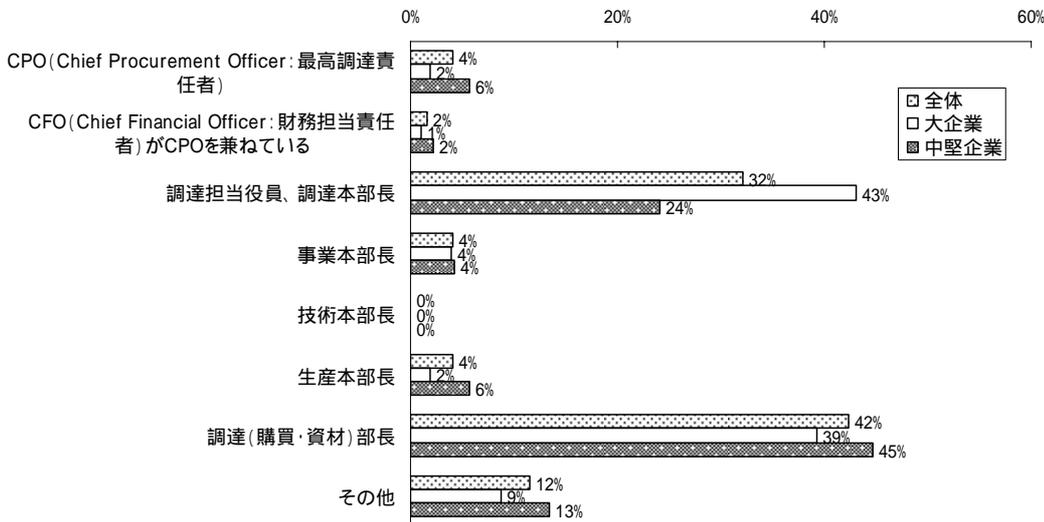
3. 調達責任者の人物像は「50代、購買・調達経験5年未満、ノンプロパー(他部門からの異動)」

調達責任者としてCPO(Chief Procurement Officer)を設定している企業は全体の僅か4%にすぎない。「調達部長」(42%)「調達担当役員、調達本部長」(32%)クラスが殆どであり、社内的な地位は高いとは言えず、(図5)調達責任者の人物像をみてもキャリアのゴールとなっていない現実が伺える。(図6 - 図8)

求められる資質は「変革推進力、行動力」(48%)「先見性、構想力」(31%)であるが、「社内他部門への影響力、調整力」(31%)「トップや周囲からの信頼」(30%)といった社内発言力を高めたいジレンマも伺える。(図9)

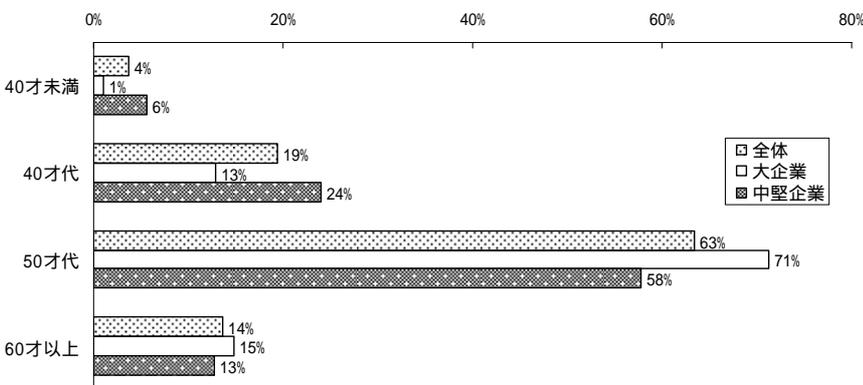
調達責任者の職制(事業規模別)(図5)

(単一回答)



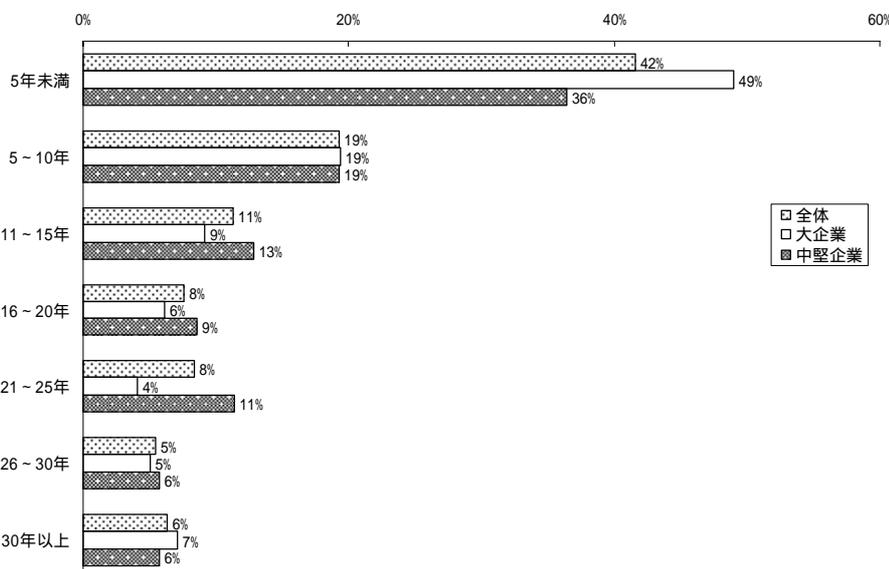
調達責任者の年齢(事業規模別)(図6)

(単一回答)



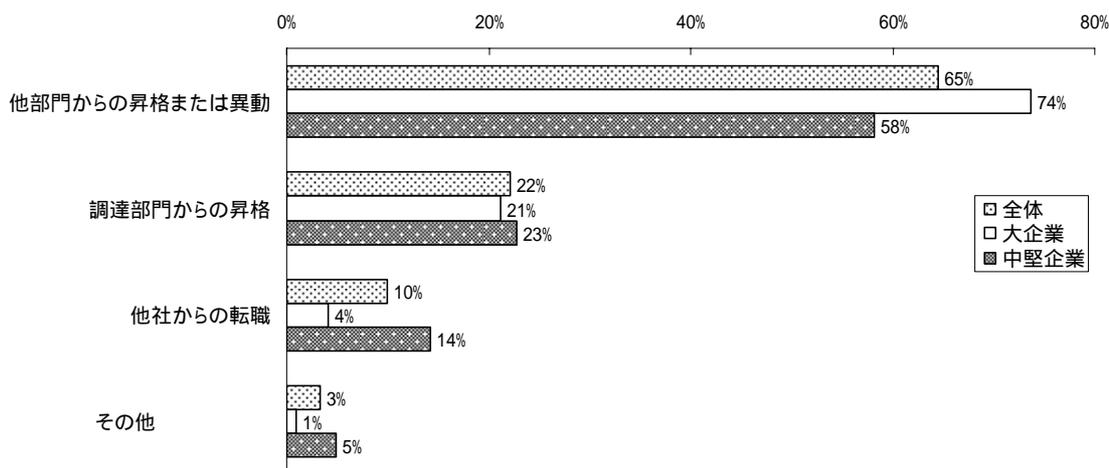
調達責任者の調達経験年数(事業規模別)(図7)

(単一回答)



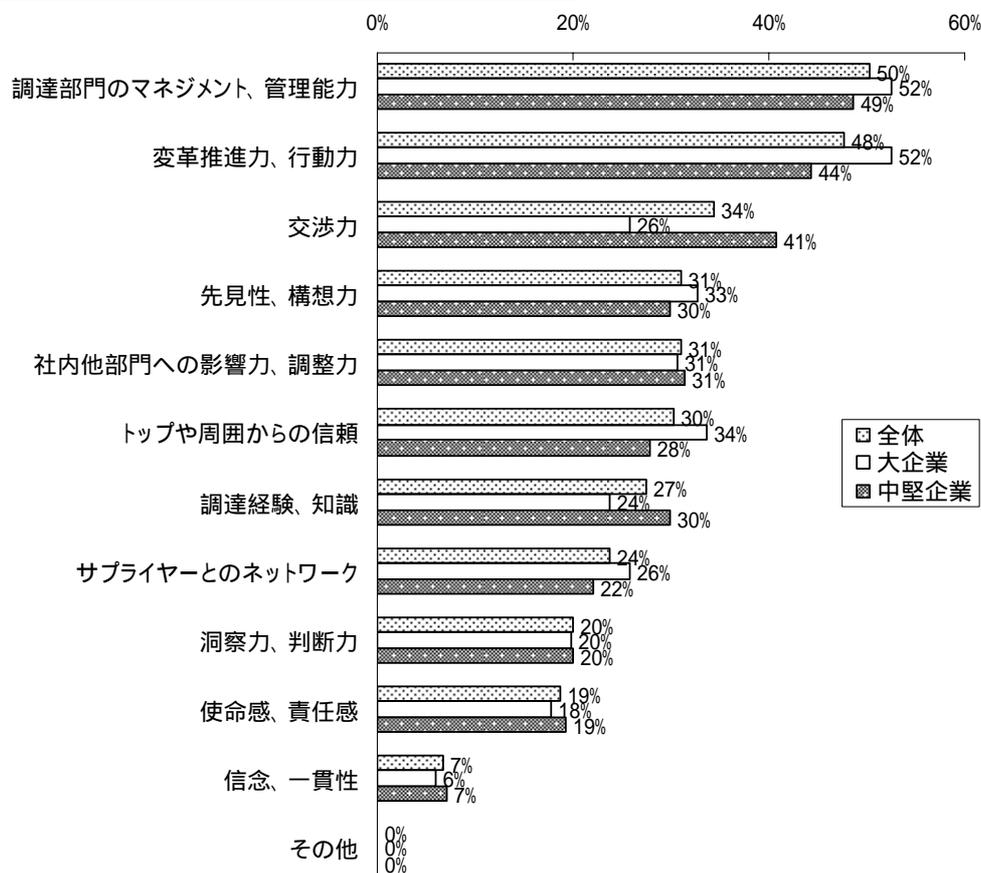
調達責任者の前職（事業規模別）（図8）

（単一回答）



調達責任者に求められる資質（企業規模別）（図9）

（3項目回答）



株式会社アジリアソシエイツとは: <http://www.agile-associates.com/>

株式会社アジリアソシエイツは、「調達購買マネジメント実現企業」です。お客様企業の調達・購買業務におけるマネジメントを確立し、外部支出の適正化、購入材・サービスの品質向上による競争力の強化、内部統制の確保など、企業価値向上に直結する仕組みづくりや定着を支援します。

さらに100%出資子会社の株式会社調達購買マネジメントが、お客様のリソースに合致した業務実行のアウトソーシングサービスを提供し、調達・購買業務の仕組みづくりから円滑な運営までトータルな支援を実現します。